

「ぎゅうてん」作りをおこなって

～自分たちの住む地域の懐かしい味を知る～

保健福祉部 子育て支援課
(桐生市立みつぼり保育園)

1. はじめに

桐生市には、公立保育園(相生保育園・広沢南部保育園・みつぼり保育園・黒保根保育園)がある。保育の必要性を認定された子どもたちを預かり、毎日の子どもたちの豊かな生活を保障し保育している。毎週月・水・金曜日の10時から12時には子育てサロンが開かれ地域の親子が遊びに来られる様に園庭を開放している。

保育園では、子どもたちの発達の節目を考えながら、さまざまな行事を組立てている。楽しい体験は子どもたちの大きな糧となり、成長の一助となっている。また、大きな行事の夏祭り・運動会には地域の方々にも来ていただこうと広げている。

2. 概要

平成28年6月19日(日)におこなわれた第16回けんこうまつりのオープニングにみつぼり保育園の5歳児が太鼓「かがやけばやし」を披露した。その後、けんこうまつりに参加しいろいろなコーナーを楽しんだ。コーナーの中で保育士が体験型食育コーナーに参加し「ぎゅうてん」を作らせていただいた。子どもたちが、この体験をすることで桐生に今以上に興味を持ち「桐生を好きな子供」を育てることに繋げていき、また、食に対する意識が高まると思い早々に保育園で話し合い実行することにした。

食生活改善推進委員の方々の協力を仰ぎ、打ち合わせを実施した。

3. 活動の様子

◎平成28年10月26日(水) 地域の食生活改善推進協議会委員 6名来園

◎エプロン・三角巾・マスクを付け身支度をする。

◎食生活改善推進協議会委員 6人の自己紹介

◎食生活改善推進委員の方々の指導のもと「ぎゅうてん」作り開始

①「ぎゅうてん」が作られた背景の説明

②材料の説明

③材料・手順の説明

③-1



・委員の方に教えてもらいながらキャベツを切りました。

③-2



・小麦粉、水、卵を混ぜて、生地を作りました。

③-3



・トロトロになった生地に桜海老・チーズ
を入れ 生地のできあがりです。

③-4



・ホットプレートで焼く。
ひっくり返したら「ぎゅー」と押し付ける。
両面を「ぎゅー」と押し
付けて焼いたところか
ら「ぎゅうてん」と呼ば
れるようになったと言
われている。

③-5



・お皿に盛り付け、おか
かとソースをかけてで
きあがり。委員の方と
一緒に席に着きどの子
も美味しそうに食べて
いた。

・小さい子達も見学に来ました。

4. おわりに

食生活改善推進委員の方々が、子ども達のペースに合わせて丁寧に教えてくださったことで、切る、混じる、焼くなどの料理の工程を楽しみながらできた。子ども達にとって地域の方々と接する良い機会となった。「ぎゅうてん」を作ることで桐生の懐かしい味を味わい少しでも桐生を知り身近に感じることができた。

今後、食生活改善推進委員の方と繋がりができたので桐生の懐かしい味をまた、教えていただききながら続けていきたい。